



弁護士アドバイスの使い方 藤野弁護士と学ぶ法律教室

(26)

裁判沙汰のイメージは?

答え 協議の場と考えてください。

1・裁判沙汰とは

法律相談を受けている
と「裁判沙汰はちょっと
避けたい」、「裁判沙汰は
情けない」などという発
言を耳にします。本来裁
判沙汰とは、裁判所で訴
訟事件として取り扱われ
ることを意味します。し
かし、どうやら相談に来
られる方にとっては、調
停も何もかも含めて、裁
判所の関与する手続は全
て「裁判沙汰」のようだ
す。

2・誤った認識

裁判沙汰になることは
情けないことなのでしょ
う。

過去に当コラムにて触
れた、「お上の判断に委ねる
ことが情けないと感じる
人がおられるようです。
また、自分で揉め事を解
決できないような企業を
い場合には裁判所で解決
するものです。

3・正々堂々と

私が目からみれば、自
分たちでコソコソと、豪
腕を用いて、あるいは、
偉い人に任せて解決する
傾向にある企業の方が、
よっぽど信用できませ
ん。

と考えるようです。ま
た、そういう相談者は、
決まって「相手方に出る
ところに出ても良い」とい
う脅しをかけられていま
す。特に後ろめたいとこ
ろがないのでしたら、出
ることに出るべきです。

5・裁判のすすめ

訴訟であっても、直ちに
過去に当コラムにて触
れた、「お上の判断に委ねる
ことが情けないと感じる
人がおられるようです。
また、自分で揉め事を解
決できないような企業を
い場合には裁判所で解決
するものです。

決できないような企業を
決できない企業であると感
じる方もおられるようで
す。しかし、そのような
実際、法律相談を受け
ていても、相談者が必要
場ではなく、協議の場で
汰は、単に白黒をつける
ができます。しかし、そのよう
な依頼者の案件は、實際
には受けやすいもので
す。なぜなら、そのよう
な相談してみると、一度相談してみるこ

6・弁護士の関与

「癖」は排除されます。
依頼者は、ある程度の支
払を覚悟しているので話
をまとめやすいかからで
す。実際に弁護士に依頼
するかどうかは別とし
て、一度相談してみて
ください。

※なお、ここで記述
にはそこまでへりくだる
は、あくまでも私個人の
意見ですので、その点、
ご了解ください。